

社会構造論2005

日本の社会

社会構造とは何か

- 社会： 主観的社会と客観的社会
- 例：社会常識・規範と法・サンクション
- 構造： 構成要素と構成されかた
- 例：自動車の構造 パーツと設計図
- 質問：
 - 1) 社会のパーツとは何か？設計図は？
 - 2) 自動車と社会ではどこがどう違うか？

社会の構成要素

- 集団・制度・文化の水準
- 集団：
 - 基礎的集団：家族・親族、地域社会
 - 派生的集団：学校、職場、役所、商店等々
- 基礎的集団の機能が派生的集団の機能へ
(共同体 結社組織が優勢)
- 逆説として、結社組織が共同体へ

- **制度 規範意識・法制度・行政機構**
- **必ずしも、社会学の直接対象ではないが、社会的行為を拘束する外的条件として重要**
- **或いは、社会的行為の正当化、資源として用いられる**

- **文化 言語・宗教・風俗・学問等々**
- **社会的行為の目標、動機付け、評価基準となりうる**

自動車と社会との違い

- 1 設計図無し 設計者無し 社会関係の網の目に、関係进行操作する人々によって作られるものが社会である。
- 2 設計できない 最も効率よい、デザインの斬新な社会を作る？ 反対者が必ずいる
- 3 社会を統一的なシステムとみなせない グローバルなレベルですら構造・関係があるが、それに抵抗する勢力はかならずある。